

平成 29 年度（2017 年度）事業報告書

横須賀市産業振興財団は、平成 5 年 11 月の設立以来、横須賀市産業交流プラザを拠点として本市産業振興の取り組みを進め、平成 26 年 4 月に公益財団法人として組織体制を改変しました。

平成 29 年度は、経済産業省から選定された「横須賀市 IoT 推進ラボ」の事務局として時代に即応する新たな業務を担うとともに、国・県の支援策も活用しながら市・商工会議所等の関係機関・団体と連携し、既存の中小企業への支援及び新規の創業支援をはじめ財団ならではの機動性を発揮して諸事業を展開しました。

今後も、企業の経営革新や創業者成長支援等をはじめとする各種研修事業、交流事業及び相談・アドバイス業務を通じて、本市産業の一層の振興を図るとともに、三浦半島地域の中小企業勤労者の福利厚生への更なる充実に向けた事業を展開します。

1 事業の概要

(1) 公益目的事業

ア 産業振興に関する懇談会、シンポジウム等の開催（交流事業）

支出額 1,273,842 円

(ア) 異業種交流グループの活動支援（補助）

企業間連携によって新たな事業起こしを目指す 2 つの異業種交流グループの活動に対して、活動費の一部を補助するとともに、定例会に随時参加し、アドバイスをを行った。

- ・横須賀地域研究機関等連絡協議会
- ・横須賀交流プラザ

(イ) 産学連携・産業経済人交流会の開催

大学研究者と企業経営者、技術者、創業者が情報交換を行うことにより、相互の理解を深め、新たなビジネスチャンスの創出を図るため、産学官連携のイベント等の終了後に交流会を開催した。

- ・期 日 6/23・7/20・9/26・11/14・11/19・11/24・2/24 の 7 回
- ・場 所 横須賀市産業交流プラザ、YRP（11/14）、(株)D2C（2/24）
- ・参加者 大学研究者・企業関係者等延べ 218 名

(ウ) 地域を越えたビジネス交流会への参加

県内の 5 産業振興財団が市域を越えた企業間の交流を促進するため、それぞれの財団が主催する事業について互いに啓発に努めた。

- ・構成機関 (公財)横須賀市産業振興財団、(公財)横浜企業経営支援財団、(公財)川崎市産業振興財団、(公財)相模原市産業振興財団、(公財)湘南産業振興財団

(エ) 中小企業支援フォーラムの活動支援

女性起業家を目指すグループ及び産学連携の自主的な活動に対して、運営面でのアドバイスとともに広報や会場使用料、開発経費等の面で支援した。

- ・対 象 ①女性起業家応援団“WITH”
②横須賀ガジェットラボ研究チーム

①女性起業家によるセミナー・勉強会の開催（WITH 主催・財団後援）

ファイナンシャルプランナー、アートセラピスト、メイクアップアーティスト、フラワー講師等、自らのスキルを活かして起業家としての成長を目指す「女性起業家応援団“WITH”」が行う対外的なセミナー・交流会とメンバー間の勉強会を次のとおり開催した。

コーディネーター：（株）フォワード・グッド代表取締役・中小企業診断士 原賢治
セミナー・交流会 4/22・7/1・8/20・10/27・11/24・3/25 計6回 参加者：延べ88名
勉強会 6/3・9/22・12/22・2/22 計4回 参加者：延べ18名

②横須賀ガジェットラボ研究チームによる開発試作の支援（木皿直規コーディネーター主催）

横須賀ガジェットラボ研究チームの開発・試作に必要な部品・ソフトを購入した。

チーム構成員：木皿コーディネーター、研究者、開発者、企業経営者等 計10名

開発試作の会合：平成29年4月～平成30年3月まで計33回 参加者：延べ70名

(オ) ハッカソン※（ICT 関連）

横須賀市内に ICT 関連企業・人材の誘致や育成を図るとともに、研究機関や観光地など横須賀ならではの資源に注目し、ICT を活用した新たな事業興しのヒントを得るため、ハッカソンとアイデアソン※を3回に渡り開催した。

なお、この事業は、平成27年7月1日から当財団が事務局を務めている「ヨコスカバレー構想実現委員会」のハッカソンユニット事業と連携して実施した。

（※）ハッカソンとはハック(Hack)とマラソン(Marathon)を掛け合わせた造語。

（※）アイデアソンとはアイデア(Idea)とマラソン(Marathon)を掛け合わせた造語。

a 横須賀イメージアップアイデアソンの開催

- ・期 日 平成29年8月8日（火）
- ・場 所 横須賀市産業交流プラザ
- ・参加者 40名（千葉大学関係者38名、ヨコスカバレー構想実現委員会関係者2名）
- ・内 容

地域活性化と子供の起業体験プログラムに取り組んでいる千葉大学教育学部藤川研究室より藤川教授を含め38名がヨコスカバレー構想実現委員会活動を視察訪問し、ヨソ者・若者目線から横須賀のイメージを向上させるためのアイデアソンを開催した。

ファシリテーター：ヨコスカバレー構想実現委員会ホードメンバー・運営本部長 相澤謙一郎
（一社）ウィルドア共同代表理事 竹田和広

b 久里浜商店街 IoT アイデアソンの開催

- ・期 日 平成30年1月24日（水）
- ・場 所 久里浜商店街事務所
- ・参加者 16名
- ・内 容

久里浜商店街をフィールドとした商店街・大規模店舗利用者の利便性向上、消費拡大をはじめとする地域経済の活性化を目指すとともに、IoT 活用も視野に入れて商店街が抱える課題解決を目的としたアイデアソンを開催した。

メンター：フェリカポケットマーケティング（株）第1営業部担当部長 蔵谷博文

ファシリテーター：ヨコスカバレー構想実現委員会ホードメンバー・運営本部長 相澤謙一郎
タイムカプセル（株） 中村雅弘

○ ヨコスカ愛デアソンの開催

- ・期 日 平成 30 年 2 月 24 日 (土)
- ・場 所 (株) D2C D2C ホール
- ・参加者 約 90 人
- ・内 容

ヨコスカバレー構想実現委員会の PR イベントである「YOKOS 会議 2018」(横須賀市共催)内において、横須賀市内で取り組んだ事例またはこれから取り組みたい構想を 4 名のプレゼンターが発表し、発表された 4 つのテーマについて、アイデアソンを開催した。

テーマ①「若者のしたい！を実現できるまち」

テーマ②「地域 100LDK 構想」

テーマ③「谷戸 de トレイル」

テーマ④「こども起業体験の未来」

ファシリテーター：ヨコスカバレー構想実現委員会ホストメンバー 宮田正秀・相澤謙一郎他

イ 産業経済に関する研修会、講習会の開催(研修事業)

支出額 6,669,651 円

(ア) 産学交流セミナー・フォーラムの開催

横須賀市に立地している企業や大学の知的資産を活用し、産学連携を促進するため、産学交流セミナーの開催とともに、環境・新エネルギー、ICT 分野に関するフォーラム等を開催して産学官連携の意義を広く周知した。

a 産学交流セミナーの開催

防衛大学校の協力を得て市内中小企業の経営の参考となるセミナーを開催し、延べ 90 名が参加した。

- ・期 日 6/23・7/20・9/26(全 3 回)
- ・場 所 横須賀市産業交流プラザ第 1 研修室
- ・後 援 横須賀市(第 2 回、第 3 回)
- ・対 象 者 企業経営者、技術者及び市民
- ・内 容

第 1 回 「放射線事故 そのときあなたはどのようにする」

－放射線事故時の防護の基礎と計測－

防衛大学校 応用科学群応用物理学科 放射線科学 教授 高田 真志
(参加者 36 名)

第 2 回 「運動で体はどう変化する？」－運動・栄養の健康増進効果－

防衛大学校 総合教育学群 体育学教育室 講師 蒔苗 裕平
(参加者 21 名)

第 3 回 「津波の破壊力とは？」－漁港・海岸施設の被災と耐津波設計を知る－

防衛大学校 システム工学群 建設環境工学科 教授 八木 宏
(参加者 33 名)

b 横須賀市研究所連携事業シンポジウムの開催(平成 29 年度単年度事業)

三浦半島地域に集積している研究機関のネットワークを強化するとともに、研究者間の課題を共有し連携することで、新技術の開発、新産業の創出及び産業集積の促進を目指すシンポジウムを開催した。

- ・期 日 平成 29 年 11 月 14 日 (火)
- ・場 所 横須賀リサーチパーク YRP ホール
- ・主 催 (公財)横須賀市産業振興財団、横須賀市、
横須賀地域研究機関等連絡協議会、(株)横須賀テレコムリサーチパーク

- ・内 容 事例発表・パネルディスカッション
コーディネーター：東京大学大学院情報学環教授・ユビキタス情報
社会基盤研究センター長 越塚登
- ・参加者 55名（21機関）

(イ) 新春経済講演会の開催

新聞やテレビで活躍する講師により、激動する日本経済が直面している諸問題を豊富な経済知識で分析し、これからの日本経済の展望について新しい年の経営指針となる講演会を開催した。

- ・期 日 平成30年1月29日（月）
- ・場 所 ヨコスカ・ベイサイド・ポケット
- ・主 催 横須賀商工会議所、横須賀市、（公財）横須賀市産業振興財団、（公社）横須賀青年会議所、横須賀工業振興（協）、横須賀三浦労働基準協会、横須賀運輸港湾振興会、三浦商工会議所
- ・後 援 神奈川県横須賀三浦地域県政総合センター
- ・講 師 増田寛也（野村総合研究所顧問・東京大学公共政策大学院客員教授）
- ・内 容 「日本経済と人口減少社会の処方箋」
- ・参加者 202名

(ウ) プログラミング研修の開催（ICT関連）

将来のICT人材を育成するため、主に横須賀市内在住・在学の小学生～高校生を対象に「ヨコスカバレー構想実現委員会」の事業と連携して実施した。

a プログラミングワークショップ「3DSでプログラミングに挑戦！」の開催

- ・期 日 平成29年8月27日（日）
- ・場 所 16Startups
- ・後 援 横須賀市
- ・講 師 タイムカプセル（株） 代表取締役 相澤謙一郎他
- ・内 容 ICTスキルを高めるための入門者向けに半日でプログラミングの基礎を学ぶワークショップ
- ・参加者 3名（小学生2名、5歳児1名）

b ヨコスカプログラミングスクールの開催

- ・期 日 9/10・10/8・10/29・12/10・1/14・2/4（計6回）
- ・場 所 16Startups
- ・後 援 横須賀市
- ・講 師 タイムカプセル（株） 代表取締役 相澤謙一郎他
- ・内 容 ICTスキルを高めるための主に横須賀市内在住・在学の中学生～高校生対象のスマートフォン向けゲームアプリケーションの製作
- ・参加者 9名（高校生4名、中学生5名）延べ37名

(エ) 創業支援セミナーの開催

a 創業セミナー〈特定創業支援事業〉

創業の意欲を持つ人に対して、創業の心構えや創業に必要なノウハウを系統的に学び、創業計画書の作成を含む研修を特定創業支援事業として行った。

- ・期 日 7/4・7/7・7/11・7/14・7/18・7/21・7/25・7/28〈全8回〉
- ・場 所 横須賀商工会議所

- ・ 共 催 横須賀市、横須賀商工会議所、(株)日本政策金融公庫
- ・ 協 賛 かながわ信用金庫、湘南信用金庫
- ・ テ ー マ
 - ①「事例から学ぶ創業成功のポイント」(7/4)
 - ②「金融機関職員が教える創業のポイント」(7/7)
 - ③「自分にふさわしいビジネスを考える」(7/11)
 - ④「売れる仕組みづくり」(7/14)
 - ⑤「創業に役立つお金の基礎知識」(7/18)
 - ⑥「人を雇うときのルール」(7/21)
 - ⑦「ビジネスプランを作る<1>」(7/25)
 - ⑧「ビジネスプランを作る<2>」(7/28)
- ・ 講 師
 - 中小企業診断士 飯島伸博(①、③、⑤)
 - 中小企業診断士 佐々木光弘(④)
 - (株)日本政策金融公庫国民生活事業南関東創業支援センター所長寺田博史(②)
 - 社会保険労務士 鈴木江美(⑥)
 - 当財団所属中小企業診断士等 石井健次、堀込孝繁(⑦、⑧)
- ・ 参 加 者 18名(全8回出席者10名)

b 女性とシニアの開業スクール<試行>

女性やシニアが初期投資を抑えたリスクの少ない起業ができるよう創業ノウハウのポイントや経験者の事例を学び、交流するイベントを試行的に開催した。

- ・ 期 日 平成29年7月16日(日)
- ・ 場 所 横須賀市産業交流プラザ 第1研修室
- ・ 主 催 (公財)横須賀市産業振興財団、(公財)神奈川産業振興センター
- ・ 共 催 横須賀商工会議所、女性起業家応援団 WITH
- ・ 後 援 横須賀市、かながわ中小企業支援プラットフォーム
- ・ 内 容
 - (a)第1部 私の起業体験談「こんな仕事で開業しました！」
 コーディネーター:神奈川県よろず支援拠点横須賀サテライトコーディネーター 高久裕司
 開業体験談発表者:リラクゼーションサロンゆったりん。代表 鈴木千恵
 - (b)第2部 公開パネルディスカッション「私はこんな仕事を始めたい！」
 ファシリテーター:神奈川県よろず支援拠点横須賀サテライトコーディネーター 高久裕司
 パネリスト:神奈川県よろず支援拠点コーディネーター 高橋玲子
 開業希望者①:アクセサリーショップ開業希望者 石橋るみ
 開業希望者②:研ぎ屋開業希望者 阿部信行
 - (c)第3部 開業支援ツールの紹介「開業したい人へ、こんな応援が！」
 紹介者①:(株)IBJ コーポレート事業部ユニットマネージャー 杉山達哉
 紹介者②:みんなのマーケット(株)コーポレート本部 渡辺愛
 紹介者③:(株)ペライチ法人支援部広報PR担当マネージャー 藤田彩月
 紹介者④:女性起業家応援団 WITH コーディネーター 原賢治
 紹介者⑤:女性起業家応援団 WITH メンバーAjesthe 認定フェイシャル
 エステティシャン 藤井裕美
- ・ 参 加 者 23名

c こども起業体験<試行>

三笠公園で開催された「よこすか産業まつり2017」に、こどもがチームを作って出店する起業体験を試行的に実施した。計画づくりから会社設立、仕入れ、営業販売、決算手続きなどを体験することで、こどもの時期から創業意識を醸成する機会を提供した。

- ・期 日 10/14・10/15・10/22・11/11・11/12・11/19（計6回）
- ・場 所 三笠公園、16Startups、横須賀市産業交流プラザ
- ・主 催 ヨコスカバレー構想実現委員会起フェスユニット
- ・後 援 横須賀市
- ・協 力 若者団体 Sukable、ヨコスカバレー構想実現委員会若者ユニット
- ・運 営 ミテモ（株）
- ・講 師 澤田哲也（ミテモ（株）代表取締役・ヨコスカバレー起フェスユニットメンバー）
飯田一弘（ミテモ（株）・ヨコスカバレー起フェスユニットリーダー）
谷口真里佳（ミテモ（株）・ヨコスカバレー起フェスユニットリーダー）
- ・内 容 10/14・10/15・10/22：自己紹介、チームビルディング、出店内容の決定、
事業計画作成、投資家へのプレゼンテーション、出資決定、定款作成、
株主名簿作成、行政書士による指導、株式会社が社会に果たす役割の講義等
11/11・11/12：産業まつり出店、店舗設営、仕込み、販売、振り返り
11/19：決算報告会、株主総会、交流会、貸借対照表と損益計算書の作成、
株主総会の準備、利益分配、会社解散、修了証授与、実業家講演
- ・参加者 9名（高校生4名、中学生5名）

（オ）経営改善セミナー（創業者成長支援セミナー）＜特定創業支援事業＞

創業後概ね3年程度の事業者を対象に、さらに業績を向上させるための具体的な方策をセミナー形式で特定創業支援事業として行った。

- ・期 日 2/2・2/9・2/16・2/23・3/2＜全5回＞
- ・場 所 横須賀市産業交流プラザ交流サロン
- ・共 催 横須賀市
- ・テ ー マ ①「絶対に知っておきたい創業・経営の心得 10カ条」（2/2）
②「数字に親しくなる経理処理の仕方、財務諸表の正しい見方」（2/9）
③「売れるにはツボとコツがある。その仕組みを徹底的に考える」（2/16）
④「企業は人なり～人材が強くなやかな組織を作る」（2/23）
⑤「成長戦略について・全5回の振り返り」（3/2）
- ・講 師 中小企業診断士 菅生将人（①、⑤）、中小企業診断士 松本典子（②）
中小企業診断士 原 賢治（③）、 中小企業診断士 磯島裕樹（④）
- ・参加者 5名（全5回出席者2名）延べ15名

（カ）スタートアップオーディション

ICT分野で新たな事業領域を自らの創意工夫で切り開くビジネスプランを募集し、審査・公表を行った。

- ・募集期間 7/10～9/8（平成29年度中に市内で着手するICT分野のビジネスプラン）
- ・1次審査 9/11～9/26（応募者7名の申請書を審査員が書面審査し、5名を選出）
- ・2次審査 10/4（公開プレゼンテーション形式で最終選考会を行い、入賞2名を選出）
- ・場 所 横須賀市産業交流プラザ第1研修室
- ・応 募 者 7名
- ・受 賞 者 入賞 Connected Industries Inc. 代表取締役 黒田千佳
「病児保育のICT化・ネットワーク化による、医療×保育プラットフォームサービス事業」（奨励金交付は辞退）
入賞 近藤威志
「Lively」（汐入谷戸エリアを中心とした空家・空地の利活用事業）
- ・審査員 金融機関職員、中小企業診断士、ICT企業代表者等

ウ 産業経済情報の収集及び提供（情報提供事業）

支出額 516,825 円

（ア）情報の収集及び提供

産業交流プラザの情報図書室において、来館者に経済情報等を提供した。

（イ）ホームページの運用による情報発信

セミナー・イベントの告知や相談窓口の紹介などの情報発信を行った。

エ 産業経済に関する調査研究（調査・相談事業）

支出額 4,704,879 円

（ア）産学官連携推進事業

市内中小企業が研究開発を伴う事業に取り組む際に、大学や研究機関との橋渡しを行う他、企業間連携促進のために産学官コーディネーターを1名配置して個別案件を支援した。

・氏名 木皿直規

・稼働日数 延べ102日

・支援実績 個別支援対象事業所・団体に対して大学・研究機関の研究者や連携企業を継続的に仲介した他、研究開発力向上のためのアドバイスを行った。また、各種展示会出展によるコーディネート機能向上のための情報収集を行った。

（イ）産業技術相談事業

中小製造事業所の技術課題に対応するため、県機関や市の工業担当職員と連携して個別訪問を行い、技術的なアドバイスとともに表彰制度や補助金など公的支援策の紹介を行った。

・期間 平成29年4月から平成30年3月（原則として毎月1回）

・企業数 15社

・訪問者 神奈川県立産業技術総合研究所職員、神奈川県産業振興センター（KIP）職員、当財団職員等

（ウ）メンタルヘルス相談事業

中小企業が独自に設置・実施することが困難な職場のメンタルヘルス対策を担うため、悩みやストレスを抱えて働いている人及びその管理者・経営者・家族を対象に「働く人の相談窓口」を開設した。

・期間 平成29年4月から平成30年3月（原則として毎週水曜日）

・相談者数 相談者32名（男性18名、女性14名） 延べ102回（平均3.2回/1名）

・相談員 （公財）横須賀市産業振興財団事業担当・産業カウンセラー 市川一郎

・内容 ハラスメントを含む職場の人間関係 10名、就職・転職・復職・休職 17名、仕事量・賃金 2名、家族問題 3名

（エ）商工相談事業

市内中小企業の経営課題に対し、商工相談員が個別に課題解決に向けたアドバイスを行った。

・相談件数 4件

・相談員 中小企業診断士（2件）、弁理士（1件）、行政書士（1件）

(ア) 会員の概要

	市 町	年度当初	増	減	年度末
会員数	横須賀市	1,085	103	112	1,076
	逗子市	26	1	2	25
	三浦市	25	3	0	28
	葉山町	8	0	1	7
	計	1,144	107	115	1,136
事業所数	横須賀市	156	7	11	152
	逗子市	8	0	0	8
	三浦市	5	0	0	5
	葉山町	3	0	1	2
	計	172	7	12	167

(イ) 自己啓発・余暇活動事業

会員の自己啓発や余暇活動をサポートし、会員・家族の QOL 向上を目指す事業を、独自企画事業に加えて県内各サービスセンターや神奈川県労働者福祉協議会との共催で行った。また、福利厚生事業を全国展開している(株)ベネフィット・ワンと契約し、多様なサービスを提供した。

a プリザーブドフラワー教室

- ・期 日 平成 29 年 5 月 20 日（土）
- ・場 所 横須賀市産業交流プラザ
- ・参加者 11 名

b 潮干狩り大会

- ・期 日 平成 29 年 5 月 27 日（土）
- ・場 所 走水海岸
- ・参加者 28 名

c 「開国花火大会」観覧クルーズ

- ・期 日 平成 29 年 8 月 5 日（土）
- ・場 所 久里浜沖
- ・参加者 35 名

d 多肉植物寄せ植え教室

- ・期 日 平成 29 年 11 月 18 日（土）
- ・場 所 横須賀市産業交流プラザ
- ・参加者 10 名

e 婚活 Party（神奈川県内サービスセンター・静岡東部サービスセンター共同事業）

- ・期 日 平成 29 年 12 月 8 日（金）
- ・場 所 CLUB 675（馬車道）
- ・参加者 男性 30 名、女性 19 名（カップル成立 12 組）

f TDRパークファンパーティー

- ・期 日 平成 29 年 12 月 17 日 (日)
- ・場 所 東京ディズニーランド「ショーベース」
- ・参加者 13 名

g ボウリング大会

- ・期 日 平成 30 年 2 月 23 日 (金)
- ・場 所 スポーツ横須賀 (ショッピングプラザ横須賀)
- ・参加者 58 名

h 福利厚生制度の有効活用術セミナー

- ・期 日 平成 30 年 2 月 24 日 (土)
- ・場 所 横須賀市産業交流プラザ
- ・参加者 9 名

i さつまいも掘り・みかん狩り・いちご狩り

- ・期 間 平成 29 年 9 月 9 日～平成 29 年 11 月 12 日 (さつまいも掘り)
平成 29 年 10 月 20 日～平成 29 年 11 月 30 日 (みかん狩り)
平成 30 年 1 月 6 日～平成 30 年 2 月 28 日 (いちご狩り)
- ・場 所 津久井浜観光農園
- ・参加者 164 名

j 各種利用券補助

- | | | | |
|---------------------|---------|---------------|-------|
| ・ジェフグルメカード | 2,152 枚 | ・ユネッサン入場券 | 45 枚 |
| ・おんり～ゆ～他日帰り温泉チケット | 148 枚 | ・潮干狩り(走水) | 126 枚 |
| ・TDR コーポレートプログラム利用券 | 171 枚 | ・ホテルランチ、ディナー券 | 544 枚 |
| ・すこやかん他スポーツ施設チケット | 286 セット | ・天成園宿泊チケットほか | 272 枚 |
| ・ハーゲンダッツミニカップギフト券 | 100 枚 | | |

k 文化教養 (演劇、歌謡などの鑑賞券補助)

- ・場 所 よこすか芸術劇場ほか
- ・内 容 ミュージカル アンデルセン ほか
- ・利用枚数 114 枚

l 委託事業 (ベネフィット・ワン)

- | | | | |
|------------|---------|-----|---------|
| ・宿泊施設 | 71 件 | | |
| ・スポーツ | 568 件 | | |
| ・レジャー&エンタメ | 862 件ほか | 合 計 | 1,501 件 |

(ウ) 健康の維持増進事業

会員が健康の維持増進のために行うスポーツの施設利用割引や、人間ドック・がん検診、インフルエンザワクチン接種などに補助をした。

a スポーツ施設利用補助 (再掲)

- | | |
|--------------------------|----------------------|
| ・横須賀市健康増進センター「すこやかん」 | 164 セット (1 セット 10 枚) |
| ・横須賀市サブアリーナほか 3 件「温水プール」 | 60 セット (1 セット 11 枚) |
| ・横須賀市総合体育会館ほか 3 件「施設使用」 | 62 セット (1 セット 11 枚) |

b インフルエンザワクチン接種補助

- ・補助対象 会員と登録している家族、計3名まで
- ・利用者 424名

c 人間ドック・健康診断オプション「がん検診」補助

- ・補助対象 会員本人
- ・利用者 73名

d 家庭用常備薬あっせん

- ・利用者 79名

(エ) 情報提供事業

会員に季刊誌等を通じて、サービス・イベント情報を発信するとともに、未加入事業所に「ひとびとみうら」の事業内容についてPRし、加入促進に努めた。

a 「ひとびとみうらセンターだより」の発行

- ・発行時期 4月・7月・10月・1月（計4回）
- ・発行部数 6,000部
- ・内容 運営状況、イベント広報ほか

b 「ひとびとみうらイベントニュース」の発行

- ・発行時期 平成29年4月から平成30年3月（計11回）
- ・発行部数 3,300部
- ・イベント広報ほか

(2) 収益事業等

ア 「ひとびとみうら」会員に対する祝い金や見舞金など慶弔金の給付（慶弔給付事業）

支出額 5,539,705円

(ア) 会員の概要

P8「オ 中小企業等勤労者への福利厚生サービスの提供(福利厚生事業) (ア) 会員の概要」のとおり

(イ) 在職中の生活安定事業

会員とその家族に祝い金や見舞金など広範な慶弔給付事業を実施した。

- ・結婚、出産、子の小学校・中学校入学、永年勤続の祝金
給付額(結婚10,000円、他5,000円) 161件
- ・休業、住宅災害、後遺障害の見舞金
給付額(5,000円～100,000円) 21件
- ・会員、配偶者、子、親死亡による弔慰金
給付額(5,000円～200,000円) 45件

イ 横須賀市内の特定中小企業者に対する経営改善支援（経営改善支援事業）

支出額 798,128 円

（ア）オーダーメイド企業研修の受託

中小企業の要望に応じて、委託企業の経営課題に対応したテーマを設定し、経営コンサルタントを派遣した。

- ・受託件数 2 件（延べ6回）
- ・内 容 「整形外科医院のホームページ作成支援」（4回）
「デジタル音源制作販売業者の経営方針立案支援」（2回）
- ・派遣専門家 それぞれの課題に対してアドバイス経験のある中小企業診断士

（イ）企業訪問調査・相談事業

市内中小企業の経営革新や創業者の経営拡大を支援するため、当該課題に適した専門家を派遣した。

- ・期 間 平成 29 年 4 月から平成 30 年 3 月まで年間を通じて実施
- ・企業数 14 事業者(14 回)
- ・訪問者 中小企業診断士

2 役員会等の概要

（1）役員に関する事項

ア 評議員の就任

- ・平成 30 年 3 月 27 日付 大 木 敦 （就 任）

イ 評議員の辞任

- ・平成 30 年 3 月 26 日付 渡 辺 和 弘 （一身上の都合による）

ウ 理事の就任

- ・平成 29 年 4 月 1 日付 松 本 義 弘 （就 任）
- ・平成 29 年 7 月 3 日付 飯 田 昌 興 （就 任）

エ 理事の辞任

- ・平成 29 年 3 月 31 日付 堀 込 孝 繁 （一身上の都合による）
- ・平成 29 年 7 月 2 日付 菊 池 宏 友 （一身上の都合による）

（2）役員会等に関する事項

ア 平成 28 年度事業及び決算等の監査 平成 29 年 5 月 17 日

イ 理事会

- ・平成 29 年度第 1 回理事会 平成 29 年 4 月 1 日
第 1 号議案 「業務執行理事の選定について」
- ・平成 29 年度第 2 回理事会 平成 29 年 5 月 30 日
第 1 号議案 「平成 28 年度(2016 年度)事業報告及び決算について」
第 2 号議案 「定時評議員会の招集について」

- ・平成 29 年度第 3 回理事会 平成 30 年 3 月 7 日
 - 第 1 号議案 「平成 30 年度(2018 年度)事業計画について」
 - 第 2 号議案 「平成 30 年度(2018 年度)収支予算について」
 - 第 3 号議案 「個人情報保護規程の制定について」
 - 第 4 号議案 「評議員会の招集について」

ウ 評議員会

- ・平成 29 年度第 1 回評議員会 平成 29 年 4 月 1 日
 - 第 1 号議案 「理事の辞任及び選任について(決議の省略による)」

- ・平成 29 年度第 2 回評議員会 平成 29 年 6 月 19 日
 - 第 1 号議案 「理事の辞任及び選任について」
 - 第 2 号議案 「平成 28 年度(2016 年度)決算について」

- ・平成 29 年度第 3 回評議員会 平成 30 年 3 月 27 日
 - 第 1 号議案 「評議員の辞任及び選任について」
 - 第 2 号議案 「平成 30 年度(2018 年度)事業計画について」
 - 第 3 号議案 「平成 30 年度(2018 年度)収支予算について」